

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年3月14日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	製紙工場における都市ガスボイラーの更新事業
承認番号	KC0854
排出削減事業者名	特種東海エコロジー株式会社
排出削減共同実施事業者名	ESカーボンクレジット合同会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	特種東海エコロジー株式会社 (住所：静岡県富士市厚原167-1)
事業の概要	既存の都市ガスボイラーを高効率の都市ガスボイラーに更新することにより二酸化炭素排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2011年度：1,962 tCO ₂ 2012年度：2,354 tCO ₂ 2013年度：2,387 tCO ₂ 2014年度：2,517 tCO ₂ 2015~2018年度：2,514 tCO ₂ 2019年度：420 tCO ₂ (事業実施期間合計 19,696 tCO ₂)
クレジット認証期間	開始日 2011年6月1日 終了予定日 2019年5月31日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2017年12月31日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	12,115tCO ₂ (2013年4月1日～2017年12月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 更新後の都市ガスボイラーが実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における流量計の記録集計等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。 2) 活動量の正確性 都市ガス使用量は、流量計の記録集計により適切に把握していることを確認した。その記録結果については、正しく実績報告書に反映されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、方法論及び承認排出削減計画並びにJクレジット制度

	<p>モニタリング算定規定Ver2.10に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を電力量計の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。□</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は 2013年4月1日から 2016 年12月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019年5月31日となっているため、当該算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。□</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 6,019.7kl、熱量換233320.8GJであることを確認した。

以上